



国語科



国語科実践事例集

1 国語科における深い学び

言葉で理解したり表現したりしながら自分の思いや考えを広げ深める学び

2 「深い学び」を目指すためのポイント

① 児童・生徒が思考できる教材化、発問

<小学部>

言葉で理解したり、表現したりするためには、必要な語句を身に付け、話や文章の中で使い、語感を豊かにすることが大切である。さらに、自分の思いや考えを深めるためには、情報を編集・操作する力や対話的学びを通して既にもっている知識や経験、感情に統合し構造化する力、新しい問いや仮説を立てるなど「考え方を形成し深める力」の育成が大切になってくる。

<中学部>

社会生活における人との関りの中で伝え合おうとする力を育むことが必要となる。そのために、

- ・テーマや課題を身近なものとして捉え、自分の考えをもてるようにすること。
- ・自分の考えと他者の考えとの比較や交流を通して、観点ごとに整理したり、新たな見方をもったりすること。

② 目指す児童・生徒の姿

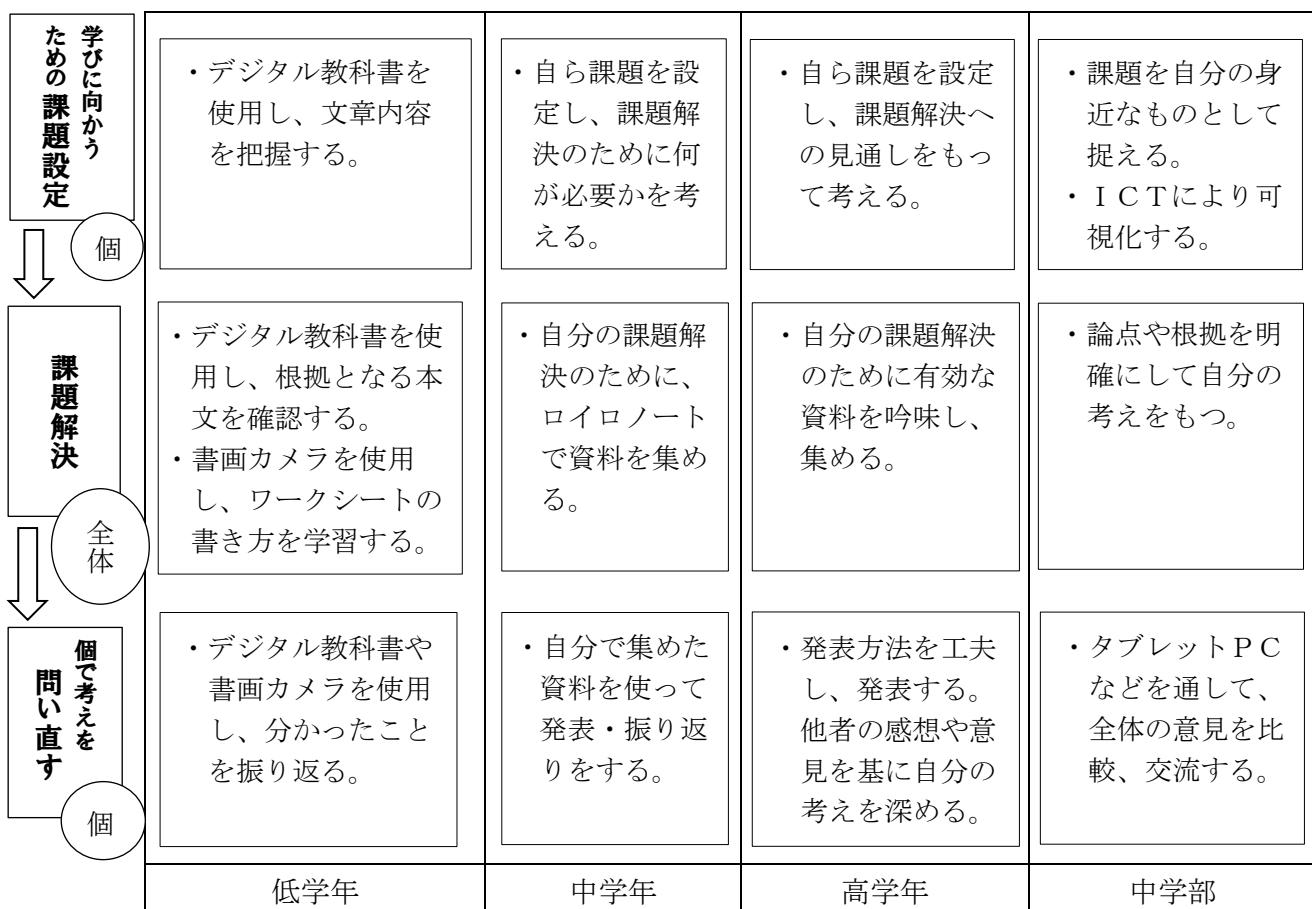
<小学部>

- ・自分の考えや伝えたいことを、根拠を示しながら表現できる児童
- ・経験したことや想像したことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりできる児童

<中学部>

- ・人との関りの中で、言葉による見方・考え方を通し、自己の考えを広げ深めることのできる生徒

3 深い学びを実現するための学習の流れとICT活用例



第1学年 国語科学習指導案

1 単元名

「くじらぐも」

2 単元計画

時	1	2・3・4・5（本時）・6	7・8
ね らい	学習の内容を知る。	くじらぐもや子供たちの気持ちを読み取り、音読を楽しむ。	グループごとに音読発表をし、感想を伝える。
学 習 内 容	範読を聞き、挿絵を手掛けたりに想像を広げながら大体の内容を捉える。	場面ごとに、人物の行動や場面の展開をおさえる。 音読を工夫する。	これまでに学習した音読の工夫を基にして音読の練習をし、音読発表会をする。
I C T	・デジタル教科書 	・デジタル教科書 ・動画資料 	

3 本時（8時間扱いの5時間目）

（1）ICT活用

学習場面	課題設定	個の思考	思考の共有	問い合わせ
学習活動	課題を発見する		考えを広げる	振り返って次につなげる
タブレット P C				

（2）展開

学習内容・活動	・指導のポイント ★評価
1 前時の振り返りをする。 2 学習課題を把握する。	・本時の活動の学習内容を知り、見通しをもたせる。 たびをするくじらぐもや子どもたちの気持ちを考えて読もう。
3 学習場面（第四場面 P10 L1～P11 L5）を音読する。 4 課題解決をする。 ・子供たちを乗せて空を泳ぐくじらぐもの様子や気持ちを考え、吹き出しに書く。 ・子供たちを乗せて空を泳ぐくじらぐもの気持ちを発表する。 ・学習場面（第四）を音読する。 ・空を旅する子供たちの様子や気持ちを考え、吹き出しに書く。 ・空を旅する子供たちの気持ちを発表する。	・内容が分かるように、語や文のまとまりに気を付けさせて、はっきりと音読させる。 ・くじらぐもが張り切っている様子を読み取らせるようとする。 ★子供たちを乗せて張り切っているくじらぐもの気持ちを読み取ることができる。 ・タブレット P Cで子供の絵を表示し、全体で考えを共有しやすくする。 ★くじらぐもに乗って空を旅する子供たちの気持ちを読み取ることができる。 ・タブレット P Cで空の動画を見て、「青い青い空」を確認させる。 ・場面の様子が表れるように、子供たちの気持ちを混ぜて音読させる。<問い合わせ>
5 学習のまとめをする。 ・学習場面（第四）を音読する。	
6 次時の学習を知る。	・次時の学習の見通しをもたせる。

第1学年 国語科学習指導案

1 単元名

「じどう車くらべ」

2 単元計画

時	1	2・3・4・5（本時）・6	7・8・9
ねらい	学習の見通しをもつ。	バスや乗用車、トラック、クレーン車、はしご車の「しごと」と「つくり」を読み取る。（習得）	事柄の順序に沿って、簡単な構成を考え、働く車カードを作成し、発表する。（活用・探求）
学習内容	○自分の知っている車（働く車）を発表し合う。	○音読をする。 ○どんな「しごと」か考える。 ○サイドラインを引く。 ○どんな「つくり」か考える。 ○サイドラインを引く。 ○それぞれの「しごと」に合わせた「つくり」を読み取り、ワークシートに書く。	○自分の好きな車の「しごと」とそのしごとに合わせたつくりを説明文に書く。 ○「働く車カード」発表会を行う。
ICT	・デジタル教科書 	・デジタル教科書 ・プレゼンテーションソフト ・電子黒板	・デジタル教科書 ・電子黒板 

3 本時（9時間扱いの5時間目）

（1）ICT活用

学習場面	課題設定	個の思考	思考の共有	問い合わせ
学習活動	興味・関心を高める 見通しをもつ	自分の考えを形成する 自分の思いや考えと結び付ける	多様な手段で説明する よさを共有する	自分の考えを形成する
タブレットPC				

（2）展開

学習内容・活動	・指導のポイント ★評価
1 音読をする。	・デジタル教科書で本文を確認し、音読する。 クレーン車の「しごと」と「つくり」を読み取ろう。
2 クレーン車は、どんな「しごと」をしているか挿絵や叙述を基に考える。	・デジタル教科書に拡大したクレーン車を映し、「しごと」に注目させる。 ・デジタル教科書を使用し、本文に注目させ、根拠を明確にさせる。 ・本文にサイドラインを引く。 ・つり上げるイメージをもたせるために、具体物を用意する。 ・クレーン車のうですが、伸びたり動いたりする動画を見せ、様子が分かるようにする。
3 どんな「つくり」をしているかについて、挿絵や叙述を基に考える。	・ワークシートに書けない児童のために、全体で交流してから、個人でワークシートに書き込ませる。 ・ペアで交流させる。 ・書画カメラを使用し、正しい答えを確認する。
4 つくりの中で、仕事に合ったつくりはどれか考える。	★教科書の本文にならい、「そのために」を使って、「しごと」と「つくり」を関連させて書いている。
5 クレーン車の「しごと」とその仕事に合わせた「つくり」をワークシートに書く。	
6 音読をする。	

第2学年 国語科学習指導案

1 単元名

「あつたらいいな、こんなもの」

2 単元計画

時	1	2・3・4・5・6(本時)・7・8・9	10・11	12
ねらい	学習の見通しをもつ。	「あつたらいいな」と思うものを考える。 発表の組み立てを考える。(習得)	発表の組み立てを考え、発表する。(活用・探求)	
学習内容	○進め方を学ぶ。	○あつたらいいなと思うものを、絵に描く。 ○道具を詳しく考え、発表の準備をする。	○「あつたらいいな、こんなもの」発表会を行う。	
ICT	・デジタル教科書 ・電子黒板 	・デジタル教科書 ・プレゼンテーションソフト ・電子黒板	 	・プレゼンテーション ソフト ・電子黒板  

3 本時(12時間扱いの6時間目)

(1) ICT活用

学習場面	課題設定	個の思考	思考の共有	問い合わせ
学習活動	興味・関心を高める 見通しをもつ	自分の考えを形成する 思いや考えと結び付ける 何度も試行する	多様な手段で説明する よさを共有する	自分の考えを形成する
タブレット PC		 		

(2) 展開

学習内容・活動	・指導のポイント ★評価
1 前時までの学習内容を確認し、本時の学習課題を知る。	
	友達と話し合い、自分の考えた道具の説明をもっとくわしくしよう。
2 話し合いの進め方を知る。	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教科書で話し合いの進め方を確かめる。
3 友達同士で話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> 絵は説明の補助であることを押さえる。 話の型を提示する。 言葉で説明したあと、説明の補助として伝えた部分について絵を見せて、話し合わせる。 考えた道具の内容を絵や文で付け足す時間を作る。<問い合わせ> <p>★話し合いを通して、道具についてより詳しく考えることができる。</p>
4 学習の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 道具の絵やワークシートを見直し、付け足しや修正をした点があったか、確かめさせる。
・友達の質問や感想で、道具の説明をより詳しくできたか振り返る。	

第3学年 国語科学習指導案

1 単元名

「筋道を立てて、話そう」

2 単元計画

時	1・2・3	4 (本時)	5・6・7・8
ねらい	資料を読み取ることができる。(習得)	交流し、組み立てを考えて発表することができる。(活用・探究)	
学習内容	○資料の読み取り方を学ぶ。 ○資料を読み取り自分の考えをもつ。 ○個人で資料を読み取る。 ○ペアや個人で考察する。	○読み取ったことの共通点や相違点を考える。 ○効果的な発表の筋道を考える。	○グループで交流し、全体を考察する。
I C T	・デジタル教科書 ・資料の読み取り 	・資料の読み取り ・メモ資料作成 	・交流の可視化 ・個の思考の再構築   個人のタブレット P C を持ち寄り、グループで話し合い

3 本時（8時間扱いの4時間目）

(1) I C T活用

学習場面	課題設定	個の思考	思考の共有	問い合わせ
学習活動	見通しをもつ 知識・技能を習得する	自分の考えを形成する	互いの考えを比較する	
タブレット P C	 	 	 	

(2) 展開

学習内容・活動	・指導のポイント ★評価
1 本時の学習の流れを確認し、学習のめあてをつかむ。	・本時のめあてを確認させる。 資料から分かったことや考えたことを伝え合おう
2 資料から考えたことをメモする。 ○どうしてそのように考えたのですか。 ○予想を立てましょう。 ○資料から考えたことを書きましょう。	
3 お互いの考え方の共通点や相違点をまとめること。 ○分かったことから、自分の考えたことを伝えましょう。 ○友達と同じ、違う（なるほど）意見は、ありますか。 ○意見を聞いて、追加したいと思う意見を見つけましょう。	・気付いたことや考えたこと、疑問などをグループの友達に伝える。 ・交流をしながら、観点別に背景の色を変えることで、相違点に注目させていく。 ＜問い合わせ＞ ★自分の考えたことを友達に伝えることができる。 ★お互いの考え方の相違点などを知ることができる。
4 交流より気付いたことを発表する。	・グループ交流より、友達と自分の意見を比べて気付いたことを発表させる。
5 本時の学習を振り返る。	・文章の組み立てに生かすことができる発言を取り上げる。

第4学年 国語科学習指導案

1 単元名

「『クラブ活動リーフレット』を作ろう」

2 単元計画

時間	1	2 3 4 5 6	7 (本時) 8
ねらい	学習の見通しを立てよう。	写真資料に合った作文の構成を考えながら書こう。	写真と作文を対応させて、相手に分かりやすい文章を書こう。
学習内容	学習課題を把握する。	写真(資料)と段落相互の関係を考えながら書く。	伝えたい作文を互いに読み合い、よい点や改善点を相手に伝える。
I C T	・デジタル教科書 	・デジタル教科書 ・プレゼンテーションソフト  	・デジタル教科書 ・プレゼンテーションソフト  

3 本時(8時間扱いの7時間目)

(1) I C T活用

学習場面	課題設定	個の思考	思考の共有	問い合わせ
学習活動	見通しをもつ	既習の知識・技能を活用する 自分の思いや考えと結び付ける	よさを共有する 考えを広げる	問い合わせ 振り返って次へつなげる
タブレット P C				

(2) 展開

学習内容・活動	・指導のポイント ★評価
1 前時のふりかえり 2 学習内容の確認	・ I C Tを活用して本時の学習内容を伝え、見通しをもつことができるようにする。 友達が書いた作文を読み合い、そのよさを伝えよう。
3 作文発表の交流会 ・写真を示し、タブレット P C上の友達の作文を読み、作文の分かれやすかった文や伝えたいことが明確な文と改善が必要な文に印を付けよう。 ※タブレット P C 1台に作文を写し、その画面に友達がよさ・改善点の印(線を引く)を付ける。	・文の分かれやすさや改善の視点など、読み合いのポイントを具体的に示し、児童が互いの作文を読んだ印を明確に付けられるようにする。 ・友達のアドバイスをもとに自分の表現が深まった点を発表させる。 <問い合わせ> ★友達の作文を読み合い、友達の伝えたいことや発表の工夫を読み取ることができる。 ★自分で書いた作文を友達のアドバイスをきっかけに振り返り、学びに向かう姿勢がもてる。
4 振り返り ・振り返りシートに本時の学習で深まったことを自己評価し、ワークシートにまとめる。	<問い合わせ>

第8学年 国語科学習指導案

1 単元名

「話し合って考えを広げよう」

2 単元計画

時間	1	2	3	4 (本時)	5	6	7
ねらい	思考を形成する過程					思考の形成・言語活動	
学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ○学習の見通しをもち、自分の考えを形成する。 ○パネルディスカッションについて知る。 ○学習課題の設定をする。 ○自分の考えをもつ。 					<ul style="list-style-type: none"> ○パネルディスカッションを行う。 ○発表者の主張概念を知り、自分の考えをもつ。 ○パネルディスカッションを通して、自分の考えをもつ。 ○振り返りを行い、自分の考えを再構築する。 	
ICT	・デジタル教科書 ・タブレットPC 	・デジタル教科書 ・書画カメラ ・タブレットPC  	・振り返り				

3 本時 (7時間扱いの4時間目)

(1) ICT活用

学習場面	課題設定	個の思考	思考の共有	問い合わせ
学習活動	興味関心を高める 見通しをもつ	自分の考えを形成する	考えを広げる	
タブレットPC				

(2) 展開

学習内容・活動	・指導のポイント ★評価
1 学習内容の確認 <ul style="list-style-type: none"> ・既習事項の確認をする。 ・本時の学習内容を知り、見通しをもつ。 	・前時までの復習をし、学習の見通しをもたせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">調べたことをもとにミニパネルディスカッションをしよう</div>
2 ペアになり、互いに発表のリハーサルを行う。	・タブレットPCを活用して、互いの準備した資料から発表を行わせる。
3 グループになり、ミニパネルディスカッションを行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・各グループで配布資料をもとにミニパネルディスカッションを行う。 	・聞き手は、発表の根拠が適切かを確認しながら話を聞くようにさせる。 ・質問を想定させる。
4 グループごとにブレインストーミングを行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○フロアの共感が得られるかという観点に基づき、話し合う。 ・資料の適性や妥当性 ・予想される質問や意見 など </div>	・ミニパネルディスカッションを通して、改善する点やよりよくするために必要なところをグループで話し合わせる。 <問い合わせ> ・質問や助言を踏まえ、自分の意見を再構築できるようにする。
5 学習の振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・自分の発表やグループの発表について振り返る。 	★発表を振り返り、よりよい資料や内容になるように再考したり、新たな考えをもったりしている。
6 学習のまとめ <ul style="list-style-type: none"> ・次時の予告をする。 	・次の学習の見通しをもたせる。